



2023年度（2024年3月期）
第1四半期決算

参考資料

2023年8月2日

エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-5122

<https://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性は、次のとおりです。ただし、これらは当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。

なお、これらは本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

企業理念にもとづく経営に関するリスク、レカネマブと次世代AD治療剤の価値最大化に関するリスク、レンビマの価値最大化に関するリスク、パートナーシップモデルに関するリスク、デジタルトランスフォーメーションに関するリスク、新薬開発に関するリスク、副作用に関するリスク、製品品質および安定供給に関するリスク、知的財産に関するリスク、訴訟に関するリスク、データの信頼性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、サクセッションに関するリスク、人財の確保と育成に関するリスク、情報セキュリティに関するリスク、新型コロナウイルス感染症に関するリスク、気候変動に関するリスク、のれんや無形資産の減損に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2022年度 第1四半期	期中平均レート	129.57	138.11	162.96	19.57
	期末日レート	136.68	142.67	165.71	20.38
2022年度 通期	期中平均レート	135.46	140.96	163.15	19.74
	期末日レート	133.53	145.72	165.56	19.42
2023年度 第1四半期	期中平均レート	137.36	149.46	171.91	19.56
	期末日レート	144.99	157.60	182.95	19.94
2023年度	予想レート	130.00	140.00	159.00	19.20

- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）、アジア・ラテンアメリカ（韓国、台湾、インド、アセアン、中南米等）の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
なお、当連結会計年度における日本事業の再編に伴い、一般用医薬品等事業を日本医薬品事業へ統合しています。前連結会計年度のセグメント情報は、当該変更を反映しています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2022年度				2023年度				2023年度	
	1Q	売上比	通期	売上比	1Q	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	1,843	100.0	7,444	100.0	1,969	100.0	106.9	127	7,120	100.0
売上原価	474	25.7	1,778	23.9	439	22.3	92.7	△ 35	1,635	23.0
売上総利益	1,369	74.3	5,666	76.1	1,530	77.7	111.8	162	5,485	77.0
販売費及び一般管理費	923	50.1	3,583	48.1	861	43.7	93.3	△ 62	3,530	49.6
販売費	502	27.3	1,890	25.4	450	22.9	89.6	△ 52	—	—
人件費	240	13.0	1,002	13.5	260	13.2	108.3	20	—	—
管理費他	181	9.8	691	9.3	151	7.7	83.6	△ 30	—	—
研究開発費	385	20.9	1,730	23.2	411	20.9	106.9	26	1,520	21.3
その他の収益	25	1.3	83	1.1	6	0.3	26.1	△ 18	65	0.9
その他の費用	11	0.6	35	0.5	4	0.2	37.2	△ 7	—	—
営業利益	74	4.0	400	5.4	260	13.2	350.1	186	500	7.0
金融収益	27	1.5	72	1.0	28	1.4	103.5	1	—	—
金融費用	4	0.2	23	0.3	5	0.3	130.3	1	—	—
税引前四半期（当期）利益	97	5.3	450	6.0	283	14.4	291.0	186	520	7.3
法人所得税	△182	△9.9	△118	△1.6	74	3.7	—	256	—	—
四半期（当期）利益	280	15.2	568	7.6	209	10.6	74.7	△ 71	390	5.5
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	269	14.6	554	7.4	203	10.3	75.6	△ 66	380	5.3
非支配持分	11	0.6	14	0.2	6	0.3	52.4	△ 5	—	—
四半期（当期）包括利益	797	43.3	969	13.0	684	34.7	85.8	△ 113		
EPS（円）	93.81		193.31		70.92				132.60	
DPS（円）	—		160.0		—				160.0	
ROE（%）	—		7.2		—				4.9	
DOE（%）	—		5.9		—				5.9	

* 通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

* EPS：基本的1株当たり四半期（当期）利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

<コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> • 選択的エストロゲン受容体分解薬elacestrantに係る経済的収益受領権の譲渡に伴う一時金123億円の受領 • 抗がん剤「レンビマ」と不眠症治療剤「デエビゴ」が引き続き伸長 (レンビマ：当期 708億円、前年同期 663億円、デエビゴ：当期 94億円、前年同期 65億円)
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> • 米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益を費用計上：当期 323億円、前年同期 317億円 • アルツハイマー病（AD）治療剤「Leqembi」の米国販売費が増加する一方、契約変更によりAD治療剤「Aduhelm」関連費用の負担なし（前年同期は、「Aduhelm」関連費用46億円を計上） • バイオジェン社から受領した「Leqembi」関連費用の戻入：当期 △40億円、前年同期 △15億円
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> • パートナシップモデルを活用した費用負担の抑制（パートナー負担額：当期 141億円、前年同期 175億円） • 前年同期は、「レンビマ」に関する米メルク社からの開発マイルストーン32億円を計上 • 「Aduhelm」の契約変更により、当期の研究開発費の負担なし（前年同期は、研究開発費23億円を計上） • 米国連結子会社において、研究施設に係る減損損失21億円を計上
■法人所得税	<ul style="list-style-type: none"> • 前年同期は、米国連結子会社から払込資本の払戻しを受けた結果、法人所得税が減少
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> • 売上収益：+54.3億円、営業利益：+16.0億円
■為替感応度 (1円の円安に対しての年間影響額)	<ul style="list-style-type: none"> • 売上収益：米ドル +19.2億円、ユーロ +3.0億円、英ポンド +0.8億円、人民元 +63.0億円 • 営業利益：米ドル △5.5億円、ユーロ +0.9億円、英ポンド △0.4億円、人民元 +41.9億円

2. セグメント情報

1) 売上収益

(億円、%)

	2022年度		2023年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,813	6,844	1,817	100.2	98.0
日本 医薬品事業	635	2,389	645	101.6	101.6
アメリカス 医薬品事業	531	2,127	543	102.4	96.7
米国	522	2,090	533	102.0	96.2
中国 医薬品事業	348	1,108	316	90.6	90.6
EMEA 医薬品事業	181	722	187	103.4	100.0
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	120	498	127	106.3	102.9
その他事業	29	600	152	521.4	474.5
連結売上収益	1,843	7,444	1,969	106.9	103.9

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2022年度		2023年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	906	3,256	932	102.8	100.8
日本 医薬品事業	230	729	228	98.9	98.9
アメリカス 医薬品事業	313	1,334	358	114.4	108.2
中国 医薬品事業	208	556	186	89.8	89.7
EMEA 医薬品事業	102	416	101	98.4	101.9
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	53	221	59	110.8	106.0
その他事業	5	485	132	2558.5	2295.2
研究開発費	△385	△1,730	△411	106.9	101.6
親会社の本社管理費等	△452	△1,610	△391	86.6	87.6
連結営業利益	74	400	260	350.1	328.6

・パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を親会社の本社管理費等に含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2022年度		2023年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	635	2,389	645	101.6
医療用医薬品	575	2,154	587	102.2
一般用医薬品等	60	235	57	95.3
セグメント利益	230	729	228	98.9
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	126	472	133	105.8
不眠症治療剤 デエビコ	53	242	81	154.1
抗がん剤 レンビマ	36	137	41	114.4
ヤヌスキナーゼ阻害剤 ジセレカ	13	73	30	227.8
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	27	103	25	92.9
抗がん剤 ハラヴェン	22	85	21	96.1
成分栄養剤 エレンタール*	18	70	19	101.5
抗てんかん剤 フィコンパ	16	61	18	115.7
慢性便秘症治療剤 グーフイス*	17	65	18	106.5
慢性便秘症治療剤 モビコール*	16	58	16	105.4
パーキンソン病治療剤 エクフィナ	12	46	15	126.4
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	16	55	12	72.6
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	12	42	9	75.8
日本 一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	39	141	37	96.6

* EAファーマの取り扱い製品です。

・「パリエット」には、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めています。

3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2022年度		2023年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	348	1,108	316	90.6 <90.6>
セグメント利益	208	556	186	89.8 <89.7>
中国 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ	139	322	69	49.8 <49.7>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	44	145	38	87.2 <87.2>
めまい・平衡障害治療剤 メリスロン	25	99	37	147.5 <147.6>
抗てんかん剤 Fycompa	6	24	26	464.9 <464.9>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	23	84	26	109.9 <109.8>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強カネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	20	79	17	83.7 <83.8>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	16	61	16	101.0 <100.9>
抗がん剤 ハラヴェン	6	20	6	109.3 <109.0>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）

(億円、%)

	2022年度		2023年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	181	722	187	103.4 <100.0>
セグメント利益	102	416	101	98.4 <101.9>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ／Kispalyx	81	309	90	111.7 <108.6>
抗てんかん剤 Fycompa	28	117	31	108.8 <103.9>
抗がん剤 ハラヴェン	35	136	30	84.2 <83.0>
抗てんかん剤 イノベロン	7	31	8	109.0 <103.8>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2022年度		2023年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	120	498	127	106.3 <102.9>
セグメント利益	53	221	59	110.8 <106.0>
アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益				
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	33	130	32	96.7 <94.9>
抗がん剤 レンピマ	23	111	26	112.2 <106.8>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	11	45	13	121.4 <117.7>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	8	39	10	132.6 <129.1>
抗がん剤 ハラヴェン	8	33	8	110.4 <103.8>
抗てんかん剤 Fycompa	4	17	5	116.0 <113.8>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・「アリセプト」のレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

4. 主力品売上収益

1) ニューロロジ領域製品

(億円、%)

	2022年度		2023年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
ニューロロジ領域製品計	371	1,445	367	98.9 <97.8>
デエビゴ/Dayvigo (不眠症治療剤)	65	294	94	144.6 <144.0>
日本	53	242	81	154.1
アメリカス	11	48	10	91.3 <88.1>
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	99	371	81	81.7 <80.2>
日本	16	61	18	115.7
中国	6	24	26	464.9 <464.9>
EMEA	28	117	31	108.8 <103.9>
アジア・ラテンアメリカ	4	17	5	116.0 <113.8>
メチコバル (末梢性神経障害治療剤)	82	308	78	94.7 <94.3>
日本	27	103	25	92.9
中国	44	145	38	87.2 <87.2>
アジア・ラテンアメリカ	8	39	10	132.6 <129.1>
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	63	244	62	98.4 <96.9>
日本	12	42	9	75.8
中国	16	61	16	101.0 <100.9>
アジア・ラテンアメリカ	33	130	32	96.7 <94.9>
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	18	82	20	110.8 <105.7>
アメリカス	9	44	10	112.5 <106.7>
EMEA	7	31	8	109.0 <103.8>
その他	45	146	33	74.5 <74.3>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・「Fycompa」について、2023年1月に米国での権利をCatalyst Pharmaceuticals, Inc.に譲渡しました。

・「アリセプト」のレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2022年度		2023年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
オンコロジー領域製品計	797	2,991	824	103.4 <99.1>
レンビマ/Kisplyx (抗がん剤)	663	2,496	708	106.7 <102.0>
日本	36	137	41	114.4
アメリカス	385	1,616	481	125.1 <118.0>
中国	139	322	69	49.8 <49.7>
EMEA	81	309	90	111.7 <108.6>
アジア・ラテンアメリカ	23	111	26	112.2 <106.8>
ハラヴェン (抗がん剤)	111	413	95	85.1 <82.8>
日本	22	85	21	96.1
アメリカス	41	139	29	71.7 <67.7>
中国	6	20	6	109.3 <109.0>
EMEA	35	136	30	84.2 <83.0>
アジア・ラテンアメリカ	8	33	8	110.4 <103.8>
その他	22	82	22	99.3 <96.6>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2023年度）

（億円）

	2022年度		2023年度	
	1Q	通期	1Q	通期予想
日本	635	2,389	645	2,385
医療用医薬品	575	2,154	587	2,150
不眠症治療剤 デエビゴ	53	242	81	350
抗がん剤 レンビマ	36	137	41	175
ヤヌスキナーゼ阻害剤 ジセレカ	13	73	30	150
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	126	472	133	135
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	27	103	25	100
抗がん剤 ハラヴェン	22	85	21	85
慢性便秘症治療剤 グーフイス*	17	65	18	80
抗てんかん剤 フィコンパ	16	61	18	75
パーキンソン病治療剤 エクフィナ	12	46	15	70
慢性便秘症治療剤 モビコール*	16	58	16	70
成分栄養剤 エレンタール*	18	70	19	70
一般用医薬品等	60	235	57	235
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	39	141	37	160
アメリカス	531	2,127	543	2,055
米国	522	2,090	533	2,010
中国	348	1,108	316	1,045
EMEA	181	722	187	670
アジア・ラテンアメリカ	120	498	127	495
その他	29	600	152	470
連結売上収益	1,843	7,444	1,969	7,120
主要品目グローバル売上収益				
レンビマ/Kisplyx	663	2,496	708	2,610
日本	36	137	41	175
アメリカス	385	1,616	481	1,740
中国	139	322	69	270
EMEA	81	309	90	320
アジア・ラテンアメリカ	23	111	26	105
デエビゴ/Dayvigo	65	294	94	425
日本	53	242	81	350
アメリカス	11	48	10	65
ハラヴェン	111	413	95	345
日本	22	85	21	85
アメリカス	41	139	29	90
中国	6	20	6	25
EMEA	35	136	30	115
アジア・ラテンアメリカ	8	33	8	30
フィコンパ/Fycompa	99	371	81	255
日本	16	61	18	75
中国	6	24	26	30
EMEA	28	117	31	125
アジア・ラテンアメリカ	4	17	5	20

* EAファーマの取り扱い製品です。

・「ヒュミラ」について、2023年6月にアッヴィ合同会社との日本での開発および販売契約が満了しました。

・「Fycompa」について、2023年1月に米国での権利をCatalyst Pharmaceuticals, Inc.に譲渡しました。

6. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2022年度		2023年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	増減額
四半期（当期）利益	280	568	209	74.7	△ 71
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	27	55	35	126.4	7
確定給付制度に係る再測定	－	11	－	－	－
小計	27	66	35	126.4	7
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	490	334	439	89.6	△ 51
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△ 0	0	2	－	2
小計	490	335	441	89.9	△ 49
その他の包括利益合計	517	401	475	91.9	△ 42
四半期（当期）包括利益	797	969	684	85.8	△ 113
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	786	955	678	86.3	△ 108
非支配持分	11	14	6	54.8	△ 5

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2022年度	2023年度	
	1Q	1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	97	283	186
減価償却費及び償却費	98	98	△ 0
減損損失	—	21	21
運転資本の増減額（△は増加）	△ 11	△ 223	△ 213
利息及び配当金の受取額	7	22	15
利息の支払額	△ 3	△ 3	△ 0
法人所得税の支払額	△ 45	△ 24	22
その他	△ 103	△ 47	57
営業活動によるキャッシュ・フロー	39	126	87
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 116	△ 70	46
無形資産の取得による支出	△ 43	△ 16	27
有形固定資産・無形資産の売却による収入	2	0	△ 2
金融資産の取得による支出	△ 9	△ 34	△ 25
金融資産の売却・償還による収入	0	3	3
小計<資本的支出等（キャッシュベース）>	△ 166	△ 116	49
3カ月超預金の預入による支出	△ 0	△ 0	△ 0
3カ月超預金の払戻による収入	—	0	0
その他	△ 3	1	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 168	△ 116	52
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	—	201	201
長期借入金の返済による支出	△ 0	△ 100	△ 100
リース負債の返済による支出	△ 24	△ 22	1
配当金の支払額	△ 229	△ 230	△ 0
その他	1	△ 4	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 252	△ 155	98
現金及び現金同等物に係る換算差額	163	164	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 218	20	238
現金及び現金同等物の期首残高	3,096	2,674	△ 423
現金及び現金同等物の期末残高	2,878	2,693	△ 185

フリー・キャッシュ・フロー	△ 126	10	136
---------------	-------	----	-----

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
運転資本は、「Leqambi」についての棚卸資産の増加や未払金の減少などにより増加
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
研究設備および製造設備の増強を進めたことによる支出が発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
短期借入金が増加した一方で、配当金の支払いおよび1年内返済予定の長期借入金を返済

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2022年度		2023年度		
	1Q	通期	1Q	増減額	通期予想
資本的支出額（キャッシュベース）	159	346	86	△ 73	355
有形固定資産	116	226	70	△ 46	135
無形資産	43	120	16	△ 27	220
減価償却費及び償却費	98	400	98	△ 0	400
有形固定資産	56	228	55	△ 1	230
無形資産	42	172	42	0	170

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2022年度		2023年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,666	13.2	1,660	12.7	99.6	△ 6
のれん	2,088	16.5	2,264	17.3	108.4	176
無形資産	892	7.1	876	6.7	98.1	△ 17
その他の金融資産	525	4.2	616	4.7	117.3	91
その他	214	1.7	211	1.6	98.3	△ 4
繰延税金資産	1,026	8.1	1,024	7.8	99.8	△ 2
非流動資産合計	6,411	50.7	6,650	51.0	103.7	239
流動資産						
棚卸資産	1,404	11.1	1,499	11.5	106.8	95
営業債権及びその他の債権	1,873	14.8	1,892	14.5	101.0	20
その他の金融資産	5	0.0	18	0.1	336.0	13
その他	266	2.1	298	2.3	111.9	32
現金及び現金同等物	2,674	21.2	2,693	20.6	100.7	20
流動資産合計	6,222	49.3	6,401	49.0	102.9	179
資産合計	12,634	100.0	13,051	100.0	103.3	417

<コメント>

■資産の部
(のれん)

円安の進行に伴う増加

(棚卸資産)

「Leqembi」の生産を進めたことなどによる在庫の増加

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2022年度		2023年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	3.6	450	3.4	100.0	—
資本剰余金	788	6.2	788	6.0	100.0	0
自己株式	△ 336	△ 2.7	△ 336	△ 2.6	100.0	0
利益剰余金	5,228	41.4	5,236	40.1	100.2	9
その他の資本の構成要素	1,870	14.8	2,310	17.7	123.5	440
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,000	63.3	8,449	64.7	105.6	449
非支配持分	226	1.8	228	1.7	100.8	2
資本合計	8,226	65.1	8,677	66.5	105.5	451
負債						
非流動負債						
借入金	849	6.7	849	6.5	100.0	0
その他の金融負債	370	2.9	388	3.0	104.8	18
引当金	13	0.1	13	0.1	103.6	0
その他	180	1.4	158	1.2	87.7	△ 22
繰延税金負債	7	0.1	8	0.1	115.7	1
非流動負債合計	1,418	11.2	1,416	10.8	99.8	△ 3
流動負債						
借入金	412	3.3	513	3.9	124.5	101
営業債務及びその他の債務	868	6.9	614	4.7	70.8	△ 254
その他の金融負債	347	2.7	373	2.9	107.5	26
未払法人所得税	22	0.2	66	0.5	298.5	44
引当金	230	1.8	254	1.9	110.6	24
その他	1,110	8.8	1,138	8.7	102.5	28
流動負債合計	2,989	23.7	2,959	22.7	99.0	△ 31
負債合計	4,408	34.9	4,374	33.5	99.2	△ 33
資本及び負債合計	12,634	100.0	13,051	100.0	103.3	417

<コメント>

■資本の部
(その他の資本の構成要素)

円安の進行に伴う在外営業活動体の換算差額の増加

■負債の部
(借入金－流動)
(営業債務及びその他の債務)

短期借入金の増加、1年内返済予定の長期借入金の減少
主に未払金の減少

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2022年度				2023年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,843	1,744	1,876	1,982	1,969
売上原価	474	451	467	386	439
売上総利益	1,369	1,292	1,408	1,596	1,530
販売費及び一般管理費	923	881	926	853	861
販売費	502	453	489	445	450
人件費	240	247	257	258	260
管理費他	181	181	179	149	151
研究開発費	385	430	399	516	411
その他の収益	25	6	4	49	6
その他の費用	11	9	2	14	4
営業利益	74	△22	86	262	260
金融収益	27	10	15	20	28
金融費用	4	4	6	8	5
税引前四半期利益	97	△16	95	274	283
法人所得税	△182	△54	3	115	74
四半期利益	280	38	91	159	209
四半期利益の帰属					
親会社所有者	269	36	86	163	203
非支配持分	11	3	5	△4	6
四半期包括利益	797	224	△307	255	684
EPS (円)	93.81	12.44	30.14	56.92	70.92

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2022年度				2023年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	39	△228	△69	240	126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168	4	△38	△25	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252	△26	297	△264	△155
現金及び現金同等物の期末残高	2,878	2,645	2,680	2,674	2,693
フリー・キャッシュ・フロー	△126	△227	△107	216	10

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2022年度				2023年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資本的支出額（キャッシュベース）	159	48	71	67	86
有形固定資産	116	26	54	30	70
無形資産	43	23	17	37	16
減価償却費及び償却費	98	99	102	101	98
有形固定資産	56	56	59	57	55
無形資産	42	42	43	45	42

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2022年度				2023年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産	12,729	12,613	12,511	12,634	13,051
資本	8,283	8,507	7,971	8,226	8,677
親会社の所有者に帰属する持分	8,045	8,281	7,740	8,000	8,449
負債	4,445	4,106	4,540	4,408	4,374
借入金	949	949	1,501	1,261	1,362
親会社所有者帰属持分比率（％）	63.2	65.7	61.9	63.3	64.7
負債比率（Net DER／倍）	△0.28	△0.24	△0.18	△0.21	△0.19

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券）÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2022年度				2023年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ニューロロジー領域製品計	371	374	397	303	367
デエビゴ/Dayvigo (不眠症治療剤)	65	71	84	74	94
日本	53	58	70	61	81
アメリカス	11	12	12	12	10
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	99	102	104	66	81
日本	16	15	17	13	18
中国	6	7	6	5	26
EMEA	28	27	30	32	31
アジア・ラテンアメリカ	4	4	5	4	5
メチコバル (末梢性神経障害治療剤)	82	82	82	62	78
日本	27	26	28	22	25
中国	44	40	36	25	38
アジア・ラテンアメリカ	8	11	12	9	10
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	63	64	64	53	62
日本	12	11	11	8	9
中国	16	18	18	9	16
アジア・ラテンアメリカ	33	34	33	30	32
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	18	20	27	17	20
アメリカス	9	11	17	8	10
EMEA	7	8	8	8	8
その他	45	34	37	30	33

・「Fycompa」について、2023年1月に米国での権利をCatalyst Pharmaceuticals, Inc.に譲渡しました。

・「アリセプト」のレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2022年度				2023年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
オンコロジー領域製品計	797	740	757	697	824
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	663	618	631	583	708
日本	36	33	37	31	41
アメリカス	385	417	430	384	481
中国	139	69	67	48	69
EMEA	81	69	70	89	90
アジア・ラテンアメリカ	23	31	27	30	26
ハラヴェン (抗がん剤)	111	103	104	96	95
日本	22	21	22	20	21
アメリカス	41	36	33	29	29
中国	6	6	5	3	6
EMEA	35	33	34	34	30
アジア・ラテンアメリカ	8	7	9	10	8
その他	22	19	22	18	22

11. 主要開発品

(1) 神経

開発品コード： BAN2401 一般名： レカネマブ 製品名： Leqembi				導入品 (BioArctic AB)
薬効／作用機序：アルツハイマー病治療剤／抗 Aβ プロトフィブリル抗体				注射剤
<p>〔概要〕 アミロイドβ (Aβ) プロトフィブリルに対する IgG1 抗体です。神経毒性を呈することが報告されている Aβ プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病 (AD) の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせます。2023 年 7 月、米国において、フェーズⅢ試験 Clarity AD に基づき、迅速承認からフル承認への変更に向けた申請について、米国食品医薬品局 (FDA) より AD の治療を適応として承認を取得しました。早期 AD に係る適応で、日本、欧州、中国、カナダ、英国 (北アイルランドを除く)、オーストラリア、スイス、韓国、イスラエルにおいて申請中です。日本、中国およびイスラエルにおいては優先審査に、英国においては革新的な医薬品について上市までの時間を短縮することを目的とした Innovative Licensing and Access Pathway に指定されています。利便性向上をめざし皮下注射剤の開発も進めています。また、脳内 Aβ 除去後の維持療法に向けた新投与レジメンを確認するための試験を進めています。Alzheimer's Clinical Trials Consortium (ACTC) と共同でプレクリニカル (無症状期) AD を対象としたフェーズⅢ試験 AHEAD 3-45 も進行中です。Biogen Inc.と共同開発を行っています。</p>				
早期 AD	301 試験 (Clarity AD)	米国 欧州 日本 中国 アジア (韓国)	◎ ◎	フル承認 (2023 年 7 月) 申請 (2023 年 1 月受理) 申請 (2023 年 1 月) 申請 (2022 年 12 月) 申請 (2023 年 6 月)
プレクリニカル AD	303 試験 (AHEAD 3-45)	日米欧		PⅢ
開発品コード： E2007 一般名： ペランパネル 製品名： フィコンパ/Fycompa				自社品
薬効／作用機序：抗てんかん剤／AMPA 受容体拮抗剤				経口剤
<p>〔概要〕 グルタミン酸による AMPA 型グルタミン酸受容体の活性化を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、欧州、中国、アジアなど 75 カ国以上で承認を取得しています。また、日本、中国では、単剤療法の承認も取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、欧州、アジアなど 70 カ国以上で承認を取得しています。欧州および中国では、経口懸濁液の承認を取得しています。日本では、細粒剤の承認を取得しています。2023 年 1 月、米国における権利を譲渡しました。</p>				
注射剤 (剤形追加)	—	日本		申請 (2022 年 8 月)
全般てんかん (効能効果追加)	332 試験	中国		申請 (2023 年 3 月)
レノックス・ガストー症候群 (効能効果追加)	338 試験	日米欧		PⅢ
開発品コード： E2006 一般名： レンボレキサント 製品名： デエビゴ/Dayvigo				自社品
薬効／作用機序：不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤				経口剤
<p>〔概要〕 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。不眠症に係る適応において、日本、米国、アジアなど 15 カ国以上で承認を取得しています。また、アルツハイマー病／認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害の適応で開発中です。</p>				
不眠症	311 試験	中国		PⅢ
アルツハイマー病／認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害 (効能効果追加)	202 試験	日米		PⅡ
開発品コード： E2023 一般名： lorcaserin				導入品 (Arena Pharmaceuticals)
薬効／作用機序：ドラベ症候群治療剤／セロトニン 2C 受容体作動剤				経口剤
<p>〔概要〕 選択的に脳内のセロトニン 2C 受容体を刺激することにより、GABA 作動性抑制性インターニューロンを活性化し、GABA を介したシナプス抑制を増加させることでドラベ症候群患者様の発作抑制を期待しています。肥満症治療剤適応の承認を取り下げましたが、ドラベ症候群の患者様団体から要請を受けたことから、米国にて延長アクセスプログラムを継続し、さらに、適応症取得をめざすフェーズⅢ試験が進行中です。FDA からドラベ症候群に関する希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ) の指定を受けています。</p>				
ドラベ症候群	304 試験	米国		PⅢ

開発品コード：E2027			自社品	
薬効／作用機序：レビー小体型認知症・パーキンソン病認知症治療剤／PDE9 阻害剤			経口剤	
[概要] 選択的なホスホジエステラーゼ (PDE) 9 阻害作用により、細胞内のシグナル伝達に重要なサイクリック GMP (cGMP) の分解を抑制し、cGMP の脳内濃度を維持することにより、レビー小体型認知症ならびにパーキンソン病認知症に対する新たな治療薬になることを期待しています。				
レビー小体型認知症・パーキンソン病認知症	203 試験	米国		PII

開発品コード：E2814			共同創出品 (ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)	
薬効／作用機序：抗 MTBR タウ抗体			注射剤	
[概要] 当社とユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとの共同研究を通じて見出された抗微小管結合領域 (Microtubule binding region: MTBR) タウ抗体です。タウ伝播種の脳内拡散を抑制することを期待しています。優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット (DIANTU) が実施する臨床試験において、抗タウ薬として最初の評価対象薬に選定され、優性遺伝 AD を対象としたフェーズ I b/ II 試験とフェーズ II/ III 試験 Tau NexGen が進行中です。				
AD	Tau NexGen 試験 103 試験	日米欧 米欧		PII/III PI/II

開発品コード：E2511			自社品	
薬効／作用機序：シナプス再生剤			経口剤	
[概要] ダメージを受けたコリン作動性神経の回復およびシナプス再形成を促し、神経変性による脳萎縮を抑制することを期待しています。				
AD	—	米国		PI

開発品コード：E2025			自社品	
薬効／作用機序：シナプス再生剤			注射剤	
AD	—	米国		PI

開発品コード：E2086			自社品	
薬効／作用機序：ナルコレプシー			経口剤	
ナルコレプシー	—	米国		PI

開発品コード：EA4017			自社品	
薬効／作用機序：がん化学療法に伴う末梢神経障害 (EA ファーマが開発)			経口剤	
がん化学療法に伴う末梢神経障害 (EA ファーマが開発)	—	日本		PI

(2) がん

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ 製品名：レンピマ				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／キナーゼ阻害剤				経口剤
<p>[概要] 血管内皮増殖因子受容体（VEGFR）である VEGFR1、VEGFR2、VEGFR3 や線維芽細胞増殖因子受容体（FGFR）の FGFR1、FGFR2、FGFR3、FGFR4 に加え、血小板由来増殖因子受容体（PDGFR）の PDGFRα、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に關する受容体型チロシンキナーゼに対する選択的阻害活性を有する、経口投与可能な自社創製のマルチキナーゼ阻害剤です。単剤療法として、甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど 80 カ国以上で承認を取得しています。肝細胞がんに係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど 80 カ国以上で承認を取得しており、胸腺がんに係る適応で、日本において承認を取得しています。エベロリムスとの併用療法では、腎細胞がんに係る適応で、米国、欧州、アジアなど 65 カ国以上で承認を取得しています。ペムプロリズマブとの併用療法では、腎細胞がんに係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなど 45 カ国以上で承認を取得しており、子宮内膜がんに係る適応で日本、米国、欧州、アジアなど 50 カ国以上で承認（一部の条件付き承認の国を含む）を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応においては、Kisplyx の製品名で発売しています。Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA（米メルク社）と共同開発を行っています。</p>				
抗 PD-1 抗体ペムプロリズマブとの併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
子宮内膜がん・ファーストライン	LEAP-001 試験	日米欧中		PⅢ
非小細胞肺癌（非扁平上皮）（化学療法との併用療法）・ファーストライン	LEAP-006 試験	日米欧中		PⅢ
非小細胞肺癌・セカンドライン	LEAP-008 試験	日米欧		PⅢ
頭頸部がん・ファーストライン	LEAP-010 試験	日米欧中		PⅢ
肝細胞がん（肝動脈化学塞栓療法との併用療法）・ファーストライン	LEAP-012 試験	日米欧中		PⅢ
食道がん（化学療法との併用療法）・ファーストライン	LEAP-014 試験	日米欧中		PⅢ
胃癌（化学療法との併用療法）・ファーストライン	LEAP-015 試験	日米欧中		PⅢ
大腸がん（MSI-H を有さない/pMMR）・サードライン	LEAP-017 試験	米欧		PⅢ
メラノーマ・セカンドライン	LEAP-004 試験	米欧		PⅡ
固形がん（胃がん、大腸がん、膠芽腫、胆道がん、膵臓がん）	LEAP-005 試験	米欧		PⅡ
頭頸部がん・セカンドライン	LEAP-009 試験	米欧		PⅡ
抗がん剤エベロリムスとの併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
腎細胞がん・ファーストライン	307 試験	日米欧		PⅢ
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発（効能効果追加）				
肝細胞がん	—	日本		PⅠ

◎ メラノーマ（ファーストライン）を対象とした米国、欧州、中国でフェーズⅢ段階にあった LEAP-003 試験について、独立データモニタリング委員会の推奨に従い、中止を決定したため、本表から削除しました。

開発品コード：E7389 一般名：エリ布林 製品名：ハラヴェン				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤				注射剤
<p>[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリノBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなど 85 カ国以上で乳がんに係る適応で承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなど 80 カ国以上で脂肪肉腫（日本では悪性軟部腫瘍）に係る適応で承認を取得しています。</p>				
単剤療法（剤形追加）				
リボソーム製剤	—	日欧		PⅠ
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発（剤形追加）				
リボソーム製剤	120 試験	日本		PⅠ/Ⅱ

開発品コード：H3B-6545				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／ER α 阻害剤				経口剤
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体 (ER) α 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。ER 陽性／HER2 陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。				
乳がん	101 試験	米欧		P I / II
乳がん (CDK4/6 阻害剤バルボシクリブとの併用療法)	—	米欧		P I

開発品コード：E7090 一般名：タスルグラチニブ				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／FGFR1、FGFR2、FGFR3 阻害剤				経口剤
[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子 (FGF) 受容体 (FGFR1、FGFR2、FGFR3) 選択的チロシンキナーゼ阻害剤であり、FGFR2 融合遺伝子を有する切除不能な胆管がん (胆道がんの一種) を対象にフェーズ II 試験を行っています。FGFR2 融合遺伝子を有する切除不能な胆道がんを予定される効能または効果として、厚生労働省よりオーファンドラッグに指定されています。				
胆管がん	201 試験	日中		P II
乳がん	—	日本		P I

開発品コード：MORAb-202 一般名：farletuzumab ecteribulin (FZEC)				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／葉酸受容体 α をターゲットとする抗体薬物複合体				注射剤
[概要] 既に承認されている抗がん剤エリブリンを結合した抗体薬物複合体 (ADC) です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、葉酸受容体 α 陽性の子宮内臓がん、卵巣がん、肺がん、乳がんなどへの治療効果を期待しています。Bristol Myers Squibb と共同開発を行っています。				
非小細胞肺癌	203 試験	米欧		P II
卵巣がん、腹膜がん、卵管がん	205 試験	日米欧		P II
固形がん	201 試験	米欧		P I / II
固形がん	—	日本		P I

開発品コード：E7386				共同創出品 (PRISM BioLab)
薬効／作用機序：抗がん剤／CBP / β -catenin 相互作用阻害剤				経口剤
[概要] CREB-binding protein (CBP) と β -catenin のタンパク質-タンパク質相互作用を阻害し、Wnt シグナルに依存した遺伝子発現を調節します。Wnt シグナルに依存した腫瘍増殖の抑制を期待しています。				
固形がん (ペムプロリズマブとの併用療法)	201 試験	日米欧		P I / II
固形がん	—	日米欧		P I
固形がん (レンバチニブとの併用療法)	—	日米欧		P I

開発品コード：E7130		共同創出品 (ハーバード大学)	注射剤
固形がん	—	日本	P I

開発品コード：E7766		自社品	注射剤
固形がん	—	米欧	P I

(3) グローバルヘルス

開発品コード：E1224 一般名：ホスラブコナゾール	自社品
薬効／作用機序：抗真菌剤／エルゴステロール合成阻害剤	経口剤
<p>[概要] 独立非営利財団 Drugs for Neglected Diseases initiative (DNDi) と、世界で最も顧みられない病気のひとつであるマイセトーマ（菌腫）の内、特にアンメットメディカルニーズの高い真菌性菌腫（eumycetoma）に対する新規治療薬として共同開発を行っています。当社は非臨床試験および治験薬の提供などを担当しています。本剤のフェーズⅡb/Ⅲ試験は、スーダンにて DNDi およびスーダンのハルトゥーム大学菌腫研究センターにより行われています。公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）の助成を受けています。</p>	
開発品コード：SJ733	共同開発品（ケンタッキー大学）
薬効／作用機序：抗マラリア剤／ATP4 阻害剤	経口剤
<p>[概要] マラリア蔓延地域での治療に適した、即効性と安全性に優れ、持続的な治癒と再発防止を可能とし、現在問題となっている既存の抗マラリア薬への耐性を克服する薬剤となることを期待しています。ケンタッキー大学と共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズⅡ試験は、ペルーにてケンタッキー大学により行われています。GHIT Fund の助成を受けています。</p>	
開発品コード：AWZ1066S	共同開発品（リバプール熱帯医学校）
薬効／作用機序：抗フィラリア剤／抗ボルバキア作用	経口剤
<p>[概要] リバプール熱帯医学校およびリバプール大学と、主なフィラリア症であるリンパ系フィラリア症および河川盲目症に有効な新規フィラリア駆虫薬創出に向けた共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズⅠ試験は、英国にてリバプール熱帯医学校により行われています。GHIT Fund および英国 Medical Research Council の助成を受けています。</p>	

(4) 消化器

開発品コード：AJG555 製品名：モビコール配合内用剤	導入品（Norgine）
薬効／作用機序：慢性便秘症治療剤／ポリエチレングリコール製剤	経口剤
<p>[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。日本において、2 歳以上の小児および成人の慢性便秘症の治療を適応として承認を取得しています。EA ファーマが開発しています。</p>	
◎ 慢性便秘症 2 歳未満適応（用法用量追加）	CT3 試験 日本 PⅢ
開発品コード：AJM347	自社品 経口剤
炎症性腸疾患（EA ファーマが開発）	— 欧州 P I
開発品コード：EA1080	自社品 経口剤
炎症性腸疾患（EA ファーマが開発）	— 欧州 P I
開発品コード：EA3571	自社品 経口剤
非アルコール性脂肪肝炎（EA ファーマが開発）	— 日本 P I

(5) その他

開発品コード：FYU-981 一般名：ドチヌラド		導入品（富士薬品）	
薬効／作用機序：痛風・高尿酸血症治療剤／選択的 URAT1 阻害剤		経口剤	
<p>【概要】尿酸トランスポーターの 1 つである URAT1 を選択的に阻害し、腎臓での尿酸の再吸収を妨げ、尿中への尿酸排泄を促進します。その他のトランスポーターなどへの影響が少ないため、より少ない用量で血清尿酸値を低下させ、副作用や薬物相互作用のリスクが低いことが期待されています。日本においては、2020 年 1 月に富士薬品が製造販売承認を取得しています。2020 年 2 月に中国、2021 年 8 月に ASEAN5 カ国における開発・販売に関するライセンス契約を富士薬品と締結しました。</p>			
痛風	301 試験	中国	PⅢ

開発品コード：E6742		自社品	
薬効／作用機序：全身性エリテマトーデス治療剤／TLR7/8 阻害剤		経口剤	
<p>【概要】自然免疫系の受容体である Toll 様受容体（TLR）は、活性化により炎症反応や抗ウイルス応答を引き起こします。本剤は全身性エリテマトーデス（SLE）の発症機序に関連しているとされる TLR7/8 の経口選択的阻害剤です。国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）に採択されています。</p>			
全身性エリテマトーデス	101 試験	日本	P I / II

開発品コード：E8001		自社品	
臓器移植に伴う拒絶反応		注射剤	
	—	日本	P I